

沿革

豊岡市消防本部の沿革

昭和22年12月1日	豊岡町大開通128番地の2に兵庫県豊岡消防署を発足 職員13名、消防ポンプ車2台で業務を開始
昭和25年4月1日	市制施行に伴い、豊岡市消防本部豊岡市消防署を発足
昭和35年2月1日	救急業務を開始
昭和42年9月7日	日高町・竹野町・出石町と消防相互応援協定を締結し、当地域の救急業務に対応
12月1日	城崎町と消防相互応援協定を締結
昭和47年10月4日	豊岡市京町の兵庫県立豊岡高等学校において火災が発生
昭和48年12月17日	豊岡市寿町8番2号（旧豊岡土木事務所）に豊岡市消防本部（署）を移転
昭和50年10月1日	豊岡市瀬戸1番地に港分遣所を設置
昭和58年9月30日	北但広域消防事務組合設立により豊岡市消防本部を廃止し、事務組合に移管

北但広域消防事務組合の沿革

昭和58年10月1日	北但広域消防事務組合消防本部を発足し、日高町国分寺857番地の1に日高出張所を設置 消防本部11名、豊岡消防署28名、日高出張所8名、港分遣所4名の総員51名で業務を開始
昭和59年2月28日	城崎町消防本部と消防相互応援協定を締結
9月28日	出石町寺坂194番地に出石郡出張所を設置
昭和63年12月26日	救助工作車（Ⅱ型）を豊岡消防署に配備
平成元年10月31日	豊岡市昭和町4番33号に北但広域消防事務組合消防本部豊岡消防署を移転し、消防救急指令装置を配備 豊岡市コミュニティー消防センター、別棟車庫、訓練塔を併設
平成2年2月1日	緊急通報システム運用開始に伴い、消防本部に緊急通報センターを設置
平成5年5月24日	消防本部初となる救急救命士が誕生
平成6年2月1日	高規格救急自動車を豊岡消防署に配備し、高度救急業務の運用を開始
12月12日	35mはしご付消防自動車を豊岡消防署に配備
平成7年1月18日	阪神・淡路大震災の発生に伴い、兵庫県広域消防相互応援協定に基づき職員を派遣
3月31日	北但行政事務組合設立により、北但広域消防事務組合を廃止

城崎町消防本部の沿革

昭和46年10月1日	城崎町湯島584番地に城崎町消防本部を発足
昭和47年4月1日	城崎町消防署を設置、業務を開始
昭和48年3月15日	救急業務を開始
昭和57年4月1日	竹野町の消防事務を受託
10月1日	竹野町松本46番地の1に竹野出張所を設置

昭和59年12月28日	消防署にC型救急指令台を配備
平成4年3月19日	緊急通報システムの運用開始に伴い、消防本部に緊急通報センターを設置
8月28日	第21回全国消防救助技術大会(千葉市)のロープ登はんに出場
9月9日	2B救急自動車を竹野出張所に配備
平成5年8月20日	第22回全国消防救助技術大会(福岡市)のロープ登はんに出場
平成6年8月25日	第23回全国消防救助技術大会(京都市)のロープ登はんに出場
11月18日	消防本部初となる救急救命士の誕生
平成7年1月18日	阪神・淡路大震災の発生に伴い、兵庫県広域消防相互応援協定に基づき職員を派遣
平成8年3月31日	城崎町消防本部を廃止

北但消防本部の沿革

平成7年4月1日	北但行政事務組合となり、北但消防本部を発足 消防本部15名、豊岡消防署34名、日高分署17名、出石郡分署17名、港分遣所4名の総員87名で業務を開始
平成8年3月31日	城崎町消防本部との合併に伴い港分遣所を廃止
4月1日	北但消防本部を再編 消防本部15名、豊岡消防署36名、日高分署19名、出石郡分署19名、城崎分署19名、竹野出張所13名の総員121名で業務を開始 高規格救急自動車を日高分署に配備し、緊急消防援助隊に初めて登録
9月1日	兵庫県消防防災航空隊の設立に伴い職員を派遣
10月24日	第46回全国消防長会救急委員会を出石で開催
平成9年1月2日	ロシアタンカー「ナホトカ号」が島根県沖で船体破損、重油流出事故に伴い管内海岸線の災害対応を実施
3月5日	高規格救急自動車を出石郡分署に配備
8月20日	空気膨張式エアータント(36㎡)1基を豊岡消防署に配備
10月1日	火災予防事務の強化を図るため、消防本部予防課に指導係を新設
平成10年12月16日	15mはしご付消防自動車を城崎分署に配備
平成11年10月1日	アポロキャップを採用、整備
11月9日	高規格救急自動車を城崎分署に配備
平成12年11月21日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を日高・出石郡分署に配備
平成13年8月8日	第30回全国消防救助技術大会(東京都)のロープ応用登はんに出場
10月31日	高規格救急自動車を竹野出張所に配備
12月4日	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を豊岡消防署に配備
平成14年11月1日	総務省消防庁より生物・化学(BC)テロ対応資器材(陽圧式化学防護服、除染シャワー装置等6点)の貸与を受け、豊岡消防署に配備
平成15年4月1日	但馬地域メディカルコントロール協議会の設立
8月28日	第32回全国消防救助技術大会(仙台市)のロープブリッジ渡過に出場

平成 16 年 7 月 18 日	豪雨災害（福井豪雨）に伴い緊急消防援助隊として職員を派遣
10 月 20 日	台風 23 号の上陸により管内に甚大な被害発生、県下ほか緊急消防援助隊の受援
12 月 16 日	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ）を豊岡消防署に配備

豊岡市消防本部の沿革

平成 17 年 4 月 1 日	市町合併により消防事務を北但行政事務組合から豊岡市に移管、豊岡市消防本部を発足 消防本部 17 名、豊岡消防署 37 名、日高分署 19 名、出石郡分署 19 名、城崎分署 19 名、竹野出張所 14 名の総員 125 名で業務を開始
4 月 25 日	JR 西日本福知山線列車事故現場に兵庫県広域消防相互応援協定に基づき職員を派遣
7 月 1 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を日高分署に配備
8 月 25 日	第 34 回全国消防救助技術大会(さいたま市)のロープブリッジ渡過に出場
平成 18 年 1 月 14 日	救助工作車（Ⅲ型）を豊岡消防署に配備
3 月 31 日	セパレート型防火服(カーキ色)を採用、整備
10 月 1 日	豊岡市但東町出合 150 番地に但東駐在所を設置し、高規格救急自動車を配備 出石郡分署の名称を出石分署に改称
平成 19 年 4 月 1 日	兵庫県消防防災航空隊に職員を派遣
平成 20 年 3 月 1 日	高機能消防指令センターの運用を開始
4 月 1 日	高機能消防指令センター運用に伴い、消防本部警防課に指令センターを新設し、豊岡消防署指令係を豊岡消防署指令センター係に改称
平成 21 年 11 月 19 日	豊岡消防署に訓練場を整備
平成 22 年 4 月 1 日	兵庫県災害医療センターに職員を派遣
4 月 17 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航に伴う業務を開始
8 月 27 日	第 39 回全国消防救助技術大会(京都市)のロープ応用登はんに出場
12 月 5 日	公立豊岡病院ドクターカー運行に伴う業務を開始
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊として職員を派遣
平成 24 年 3 月 16 日	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ）を豊岡消防署に配備
7 月 10 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊支援資器材の貸与を受け、豊岡消防署に配備
平成 26 年 3 月 25 日	35m先端屈折はしご付消防自動車を豊岡消防署に配備
5 月 8 日	広報車を但東駐在所に配備
平成 27 年 1 月 3 日	城崎町湯島の城崎温泉街において大規模な火災が発生
3 月 23 日	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ、水 800ℓ）を城崎分署に配備
3 月 26 日	兵庫県朝来市内で発生した縫製工場火災へ消防相互応援協定に基づき職員を派遣
4 月 1 日	豊岡市城崎町湯島 71 番地の 1 に城崎分署を移転 兵庫県消防学校救急救命士養成課程の教官に職員を派遣
平成 28 年 1 月 29 日	セパレート型防火服(ネイビー色)を採用、更新整備
4 月 1 日	消防救急デジタル無線設備及び基地局（消防本部、港、竹野、大岡山、郷路岳）を整備し、運用を開始

4月16日	熊本地震に伴い緊急消防援助隊として職員を派遣
7月1日	指導救急救命士制度が導入され、指導救急救命士が誕生
平成29年3月30日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を豊岡消防署に配備
4月1日	木造家屋密集街区消防活動計画を策定し、運用を開始
12月22日	消防ポンプ自動車（CD-I、水800ℓ）を出石分署に配備
平成30年4月1日	総務省消防庁に職員を派遣
7月12日	7月豪雨災害（西日本豪雨）に伴い 緊急消防援助隊として職員を派遣
10月21日	城崎地域において木造家屋密集街区防災訓練を実施
12月14日	消防ポンプ自動車（CD-I、水800ℓ）を竹野出張所に配備
平成31年4月1日	消防本部に初の女性消防吏員が誕生 火災予防事務・火災原因調査の強化を図るため、豊岡消防署予防係を豊岡消防署調査係に改称
令和元年6月24日	G20大阪サミット消防特別警戒に消防隊を派遣
7月7日	出石地域において木造家屋密集街区防災訓練を実施
10月1日	消防本部公式Facebook ページを開設
10月20日	豊岡地域において木造家屋密集街区防災訓練を実施
令和2年2月1日	救助工作車(Ⅲ型)を豊岡消防署に配備
2月7日	パワーゲート付積載車を豊岡消防署に配備
令和3年1月13日	豊岡市中央町において木造家屋密集街区火災が発生
2月15日	13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車(MVF)を城崎分署に配備
4月1日	兵庫県消防防災航空隊に職員を派遣
7月1日	高機能消防指令センターに多言語通訳サービスを組込み、運用を開始
10月1日	消防本部(署)に女性専用施設を整備
10月23日	港地区において木造家屋密集街区防災訓練を実施
令和4年2月1日	指揮車を豊岡消防署に配備
4月1日	高機能消防指令センターを更新整備、NET119 緊急通報システムの運用を開始 女性消防吏員の隔日勤務を開始
10月23日	日高地域において木造家屋密集街区防災訓練を実施
令和5年3月30日	消防ポンプ自動車（CD-I、水800ℓ）を日高分署に配備
5月17日	第80回全国消防長会救急委員会を城崎で開催
5月31日	第46回全国消防職員意見発表会(京都市)において入賞
9月1日	消防本部公式Instagram を開設
令和6年1月15日	能登半島地震に伴い緊急消防援助隊として職員を派遣
4月1日	消防組織の充実強化を図るため職員定数を131人から138人に増員 兵庫県消防学校救急救命士養成課程の教官に職員を派遣
11月1日	無人航空機（ドローン）を豊岡消防署に配備し、運用開始
令和7年5月5日	城崎町湯島において木造家屋密集街区火災が発生

8 月 30 日	第 53 回全国消防救助技術大会(三木市)のロープ応用登はん、はしご登はんにおいて上位入賞
12 月 19 日	出石分署庁舎改修工事が完了